



# 蒲郡文化

No.216

蒲郡市栄町3番30号

蒲郡市文化協会

TEL・FAX(0533)68-5509

URL <http://www.gamagorishibunkyo.jp>

E-mail [g.bunka@lion.ocn.ne.jp](mailto:g.bunka@lion.ocn.ne.jp)

## 「地域伝統文化発展は蒲郡発展の起爆剤」



衆議院議員

今枝 宗一郎

明けましておめでとうございます。

旧年中はご指導ご支援いただき心より御礼申し上げます。

また、蒲郡の文化発展のために会員の皆様には日頃より並々ならぬご尽力を賜りまして、深く敬意と感謝を表します。

毎年春の文協まつり、秋の蒲郡市民文化祭には出席させていただき、会員の皆様の作品や演出に触れるたびに、この地域の文化レベルの高さに感激させられております。古くは歌人としても名高い藤原俊成卿が三河国司として蒲郡を開発してきた時代から、蒲郡は文化の地として現代まで発展してきました。東三河はお祭りでは手筒花火を奉納するなど他にはないくらい盛んであり、かつ貴重な伝統でございますが、ここ蒲郡においては、ちゃらばこ太鼓といった伝統芸能とともに引き継がれ若い世代の子ども達までしっかりと浸透しております。これまでの文化芸能を守り、次の世代へ受け継いでこられました皆様の想いの強さには感服するばかりでございます。

私もそういった皆様の背中を見て、最近では文化を担当する教育文化スポーツ委員長として国政において様々なことに取り組んで

ました。まずは文化庁改革です。これまでの文化庁は主として、遺跡保存を中心としておりましたが、国民が身近に文化芸術に親しむため鑑賞機会を充実させ、さらに創造活動や各地域の歴史等に根ざした祭礼行事、民俗芸能、伝統工芸等の伝統文化に関する活動の継承・発展も促進するような支援ができる文化庁の組織改革に努力しました。また、自分達で楽しむのみならず、外への発信をしやすくなることで、観光と並び人口減少社会において交流人口（観光などで地域に訪れ交流する人のこと）や関係人口（広く地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと）増での地方創生に大きく関わる切り札ともなります。

次に文化庁関係予算についても委員長として、文化庁組織改革の趣旨に沿い、地域の有形・無形の文化芸術資源の伝承など地域の宝を守る取り組みを支援するための予算や人材育成、そして次代を担う子どもたちが触れ合うための予算など様々な項目において予算額を増やすべく努力いたしました。

文化発展が地域の未来に及ぼす影響は計り知れないものがありますので、是非とも蒲郡の誇る文化を活かして会員の皆様とともに、市民文化の発展に努めたいと存じます。

最後になりますが、蒲郡市文化協会のご発展と皆様の今後益々のご活躍をご祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

## 初心者のための 文協講座

### 短歌教室 10月7日(月)～28日(月)

毎週月曜日の午後1時30分から3時まで蒲郡市民会館会議室2にて、参加者9名で開講しました。

3名の講師による『短歌とは・短歌の心とは・短歌の鑑賞・吟行・歌会』と実りの多い講座でした。熱心に質問される姿に感心しました。



### 俳句教室 11月3日(日)～24日(日)

毎週日曜日午前10時から12時まで府相公民館にて参加者10名で開講しました。1回目は牧野多江子先生の講義。2回目、3回目は竹島周辺を吟行して、さっそく俳句を2句作りました。最終回には、各自2句持寄り、基本的な俳句会を行いました。今年1月から、新しく「日曜句会」を7名で発足することが決まりました。



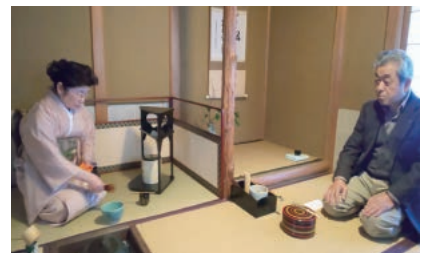
## 月例茶会



9月8日(日) 煎茶薫風流  
鈴木博翠席主



10月6日(日) 表千家  
中野宗恵席主



12月1日(日) 表千家  
尾崎宗重席主

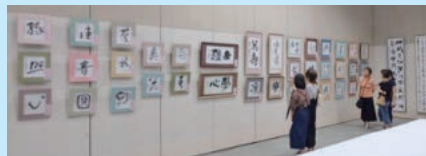
## ● ● ● 会 員 ピ ア ザ ● ● ●

### お月見会八剣雅楽倶楽部



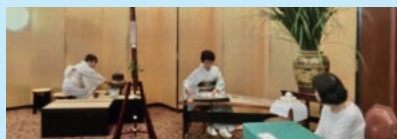
9月14日(土)に八剣神社で行われ、太極拳・相撲甚句・オカリナ・居合道・琴演奏・博物館の地元歴史解説・雅楽演奏等で、子どもからお年寄りまで多くのみなさんと仲秋の名月を楽しみました。

### 碩山書院一門展 8月31日(土)～9月1日(日)



東ホールで行われました。最終日に講評と優秀な作品が表彰されました

### 観月茶会 10月11日(金)



今年はいにくの雨となり、室内で一日だけのお月見茶会となりました。それでも、琴の演奏を聴きながら楽しい時間をすごしました。

11月和歌山で行われたねりんピックに愛知県代表として君多香さんが出演。「正調岡崎五万石」を歌われました。





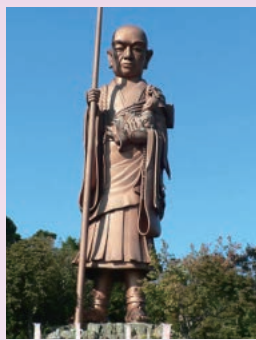
## ふるさと文化財の謎(12) 子安弘法大師像と

### 金剛寺

三谷町南山の通称弘法山（標高百<sup>ト</sup>）に東洋一を誇る子安弘法大師像が建っている。

名古屋の瀧兵（株）五代目の瀧信四郎氏が昭和12年10月に建立し当時の三谷町に寄贈したものである。

像の高さ62尺（18・7<sup>ト</sup>）抱えている子は5<sup>ト</sup>、耳たぶ1<sup>ト</sup>、錫杖22<sup>ト</sup>、その先端に避雷針が付けられている。これは竹島の標高22<sup>ト</sup>と同じ高さである。



子安弘法大師像

弘法大師（空海）は62歳

で御入定された年齢に合わせて像高を62尺にしている。

大師像前の石碑の碑文によれば、愛媛県小松市の四国88ヶ霊場、61番札所、香園寺に残る弘法大師像の原図を基にしたものである。鉄骨造り、鉄筋コンクリートの大師像である。設計は村瀬国之助、施工は鬼頭三郎である。

弘法大師（空海）の慈悲を護る金剛寺は同じ南山にあり昭和13年の開山である。高野山真言宗である。

三河新四国霊場の第45・46番札所である。現在の住職は東公<sup>あずまこうみょうし</sup>猛師である。

ご利益は、安産・子授・子育て、交通安全・家内安全・厄払いなど諸願成就である。特に当寺の毘沙門天は奈良の信貴山より勧請したも



金剛寺

ので商売繁盛のご利益は名高い。

御朱印状は、子安弘法大師と准胝<sup>じゆんてい</sup>観音（菩薩の最高尊像）である。

弘法山から三河湾が一望でき渥美半島、知多半島と遠く志摩半島まで眺めることができる眺めのよい所である。

（写真・文 林 正夫）

## 会 員 ピ ア ザ

### 第10回チャリティ絵馬展



フレンドギャラリーたかで恒例の絵馬展が11月22日（金）～25日（月）までおこなわれた。毎年楽しみにしている人もいて、楽しい雰囲気の会場であった。

### 写真集団「雲」作品展



今年は「日本の冬」というテーマで、11月7日（木）～17日（日）まで図書館で開かれ、静かな中で楽しく見入っていた。

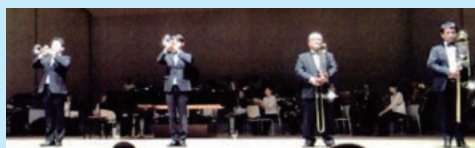
### 福祉コンサート 名古屋公演 11月25日（月）

コカリナの皆さんが、名古屋フィルハーモニー交響楽団のステージで「ふるさと」を演奏しました。



### 第80回記念定期演奏会 12月15日（日）

市民会館  
大ホール



「サモン・ザ・ヒーロー」の曲から演奏会がスタートしました。

# 文化祭



10時より開会式が行われ、市長、会長の主催者挨拶に続き、衆議院議員、市議会議長のお祝いの挨拶を頂いた。アトラクションは、「ゑんの会」による三味線演奏があった。

## 開会式典 11月1日



### 詩吟コンクール表彰式

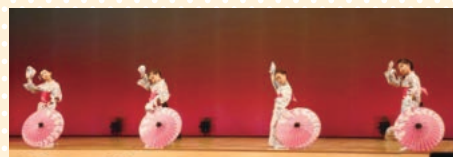
|         |        |
|---------|--------|
| 市長賞     | 山本 歌子  |
| 県議会議長賞  | 島田 亜由美 |
| 県文協連合会賞 | 吉見 由利子 |
| 市議会議長賞  | 井澤 滋子  |
| 市教育委員会賞 | 香ノ木 吉昭 |
| 市文化協会賞  | 飛田 正美  |

## 詩吟コンクール入賞者

## 芸能発表会 11月2日・3日



## ホール会場



## 箏曲演奏会 11月23日



親子教室の参加者も多く、また、古典、宮城曲、現代曲、童謡とバラエティーに富んだステージとなった。

## 洋楽発表会 11月17日



今回は9団体が参加。蒲郡市吹奏楽団の舞台では、ソロ歌手、少年少女も加わり盛り上がった。





# 市民

## 菊花展受賞者

|          |         |        |          |          |        |      |         |         |        |
|----------|---------|--------|----------|----------|--------|------|---------|---------|--------|
| 市文化協会会長賞 | 市教育委員会賞 | 中日新聞社賞 | 商工会議所会頭賞 | 農業協同組合長賞 | 市議会議長賞 | 市長賞  | 県文協連合会賞 | 県教育委員会賞 | 県議会議長賞 |
| 樋山利枝     | 鈴木清信    | 嶋田勝美   | 白川元重     | 村松捷二     | 羽田喜久司  | 稲石アキ | 小田安秋    | 福井敬子    | 河井宏幸   |
|          |         |        |          |          |        |      |         | 小林春枝    | 田島道秋   |



中村会長



稲葉市長



開花が遅れ、菊花展に合わせる開花調整に苦労されたようです。

|        |                   |
|--------|-------------------|
| 書道・工芸展 | 11月1日～3日          |
| 出品点数   | 工芸 86点<br>書道 113点 |
| 参観者数   | 627人              |
| 華道展    | 11月16日・17日        |
| 出品点数   | 64点               |
| 参観者数   | 1,023人            |



華道展は、錦秋の季節で紅葉や実の花材を使った作品が多くみられた。また、呈茶席もあり大勢の人で賑わっていた。書道・工芸展は、色々の作品がありバラエティーにとんでいた。また、盆石の実演もあり真剣に見入っていた。



400人以上の人がお抹茶、煎茶を楽しまれ華やいだ会場となっていた。

|       |       |
|-------|-------|
| 市民茶会  | 11月3日 |
| 表千家   | 三興庵   |
| 煎茶薫風流 | 大会議室  |



小品飾りが多く出品されていたが、バランスの取れた展示となっていた。

|       |            |
|-------|------------|
| 皐月盆栽展 | 11月16日・17日 |
| 出品点数  | 27点        |
| 参観者数  | 436人       |
| 水石展   | 中会議室       |
| 出品点数  | 27点        |
| 参観者数  | 263人       |



## 短歌会入賞者

県教育委員会賞 中村 文子

病床に臥したる姉の白き手のわがセーラー服縫ひし日々あり  
県文化協会連合会賞 林 正夫

わが腰に二枚の湿布貼る妻の位置を確かむその手の温し  
市長賞 佐伯伊穂栄

後の世に残し置く物何も無しさばさばとして初夏の野を行く  
市議会議長賞 堀井 道子

閉店し灯り消えたるコンビニの真上に高く十五夜の月  
市教育委員会賞 加藤 芙美代

けふ吾の一つ喜びつゆばれの畑に小さき茄子の艶めく  
市教育委員会賞 嶋田 稔

病む妻の車椅子押すわが友の関白亭主の影すでに無く  
市文化協会賞 久米 章子

料理番組見つし思ふ足萎えて再び厨に立てざる吾か  
市文化協会賞 吉見 幸子

佳作 常々に歩く足取り気にかけて登る階段ワルツのリズム

三田美奈子 神田 典夫 山崎 俊子 藤田 隆子  
小野田初枝 牧原 正枝 石田 文子 小林 あさ

## 俳句会入賞者〔学生部〕

市長賞 小笠原鈴菜 秋空にほうおうひかる鹿苑寺

市議会議長賞 山崎 勝道 秋晴れにかがやきが増す鹿苑寺

市教育委員会賞 小林 天音 鹿苑寺池の中にももう一つ

市文化協会賞 市川 愛心 京都タワー秋夕焼で色変り

## 俳句会入賞者〔募集句の部〕

県文化協会連合会賞 田中まるこ

脚足して破れGパンはく案山子  
市長賞 鬼頭 幸子

黒堀を猫の鳴きゆく十三夜  
市議会議長賞 高橋 克代

歩めよと靴贈らるる敬老日  
市教育委員会賞 前田タネホ

出漁の船に乗り込む赤とんぼ  
市文化協会賞 立川 美子

刈り残す一叢占めて虫時雨  
中日新聞社賞 金田 満子

秋彼岸引き出し深く父の文  
中日新聞社賞 大場 安子

秋ともし晩学支う子の机  
蒲郡新聞社賞 山本美智子

歳時記の付箋よれよれ日雷  
蒲郡新聞社賞 丸山 三依

爽やかや幼が覗く万華鏡

## 俳句会入賞者〔当日句の部〕

県教育委員会賞 星野 ぎん

九十年生きて余生の諸を掘る  
市長賞 小田 智子

ひもじさの記憶の味やふかし芋  
市議会議長賞 壁谷 禮伺

龍淵に潜みし河の暴れ水  
市教育委員会賞 市川美智子

木の葉舞ふくるりんバスの前うしろ  
市文化協会賞 小田かず子

雪吊りの縄真つ新に日の集う  
中日新聞社賞 内田 陽子

新酒酌む眼鏡外してより多弁  
中日新聞社賞 尾崎 嬉子

介護日々今日の自分へ栗まんじゅう  
蒲郡新聞社賞 大場 安子

貧乏神祓いて受くる大熊手  
蒲郡新聞社賞 稲吉 園江

ちぐはぐな二人の会話夜の長し

短歌会 11月3日 東会議室にて

出席者25名で開催されました。

俳句会 11月23日 大会議室にて

出席者42名で開催されました。

たくさんのご応募・ご参加ありがとうございました。



## 文化財めぐり

聖徳太子

誕生の地を訪ねて

十一月十三日(水)

秋の一日、文協会員の皆さまと奈良の旅に出かけました。

ちょうどこの時期は東名集中工事にあたり少し時間はかかりましたが和気あいあい、少しずつ紅葉の進む山々、スキの群生、家々の皇帝ダリア、白壁の家々をながめバスはいよいよ明日香の地へと。

最初は橘寺。聖徳太子誕生の地、太子建立七大寺の一つ。橘は、日本書紀によると田道間守が垂仁天皇の命を受け、不老長寿の薬を海を渡り持ち帰った種（みかんの原種）であつた橘に由来するとか。竹島八百富神社境内にもみかんの原種が植えられていることに親しみを覚えました。太子十六歳像、三十五歳坐像の前に皆心静かにお参りしました。

境内の石造物、左右に善相悪相の彫られた二面石の前に自ずと神妙になりました。

次は橿原神宮へ。大和三山、畝傍山の麓に明治天皇が、神武天皇と皇后を祀り創建された日本の歴史と文化発祥の地の鳥居をくぐり、高木の橿間の参道を静かに進みました。十一月末に天皇皇后両陛下がお越しになると聞いています。



橿原神宮

最後は聖林寺へ。奈良盆地を見下ろす小高い所に藤原定慧（鎌足の長子）が創建という。本堂では、石造りの子安延命地藏菩薩のふくよかな慈悲深いお顔をいつまでも眺めています。



聖林寺

ました。観音堂の国宝十一面観音像は、明治時代フェノロサに激賞されたのは驚きでした。お堂の改修で来年のオリンピックの頃、東京国立博物館にて展示されると聞きました。きつと多くの方を魅了してやまないでしょう。

いよいよ私たちの明日香への旅のロマンも終わります。夕べ望月を雲の間にながめつつ蒲郡へと……。

バス窓に大きき鰯雲たよへる明日香の空の下ゆくわれら

鈴木美耶子

## 博物館ギャラリー展示



### 絵画展

11月1日(金)～3日(日)

見ごたえのある作品ではあるが、大作が少なくなっている。県美術展の日程の変更も影響か

### 水墨画展

11月15日(金)～17日(日)

墨彩画が多く華やかではあるが、水墨画が少ないのは少し残念



### 写真展

11月8日(金)～10日(日)

年々風景写真が多くなって、人物写真が見られなくなっているように思う。

# お知らせ

## 第9回 文化事業

2月16日(日)

市民会館大ホール

開場13:30 開演14:00

《チケット発売中》

前売券 1,000円(18歳以下500円)

当日券 1,500円(18歳以下700円)

文協事務局又は市民会館窓口にて

田中 瑞穂 指揮  
アルテ室内管弦楽団

### 映画音楽&歌声喫茶Ⅲ

●映画音楽 / ある星の詩 シェルブールの雨傘 風に靡いを 短く美しく燃え シャレード  
●歌声喫茶 / ヤングマン いつでも夢を 高校三年生 昂 真知人 等

美しい夢と希望の青春時代、よく遊び、ちよっと背伸びもした学生時代、懐かしい映画音楽と歌が涙とともに感動でよみがえります。

2020.2.16 Sun  
13:30 開場 14:00 開演

ソングリーダー 坂井 俊雄  
ソングリーダー 柳井 和子

指揮 田中 瑞穂  
管弦楽 アルテ室内管弦楽団

蒲郡市民会館 大ホール  
蒲郡市栄町3-30 TEL (0533) 67-5151

入場料 前売券 1,000円(学割 500円) 税込 全自由席  
当日券 1,500円(学割 700円) 税込 全自由席

■主催 蒲郡市文化協会  
■共催 蒲郡市教育委員会

蒲郡市文化協会文化事業

チケット取り扱い 蒲郡市文化協会事務局 TEL0533-68-5509 蒲郡市民会館窓口 TEL0533-67-5151  
お問い合わせ / 蒲郡市文化協会事務局(蒲郡市民会館内) TEL&FAX 0533-68-5509

## 第53回 いけばな花月展

令和2年 2月1日~2日

2月1日(土)  
2日(日)

蒲郡市民会館 東ホール

家元製名教誨記念  
第53回 いけばな  
花月展

蒲郡市民会館(2F) 東ホール  
開場: 1日 AM8:00~PM5:00  
2日 AM8:00~PM4:00  
主催: 花月会青丹会  
後援: 蒲郡市文化協会  
後援: 蒲郡市教育委員会

## 図書館の催し物 (問合せ TEL69-3706)

|                                      |                                 |
|--------------------------------------|---------------------------------|
| 特別展 さわって見よう“触図って何?”<br>一手からウロコの触図展Ⅲー | 1月13日(月・祝)~ 2月2日(日)             |
| 企画展 盆石を楽しむ                           | 2月8日(土)~16日(日)<br>実演会 2/11(祝・火) |
| 土曜会墨彩画展                              | 2月19日(水)~27日(木)                 |
| ねこのおはなし会                             | 2月22日(土) 11時~                   |
| 蒲郡切り絵同好会第15回切り絵展                     | 2月29日(土)~ 3月8日(日)               |
| 春の特別展 夢見た!あこがれた!のりものコレクション展          | 3月14日(土)~ 4月12日(日)              |

## 博物館の催し物 (問合せ TEL68-1881)

|                |                   |
|----------------|-------------------|
| 蒲郡っ子作品展        | 1月24日(金)~26日(日)   |
| 第35回写真集団「雲」作品展 | 2月26日(水)~ 3月1日(日) |
| 鈴木美翠書道作品個展     | 3月7日(土)・8日(日)     |
| 和紙ちぎり絵展示会      | 3月14日(土)・15日(日)   |
| 手織場展           | 3月20日(金・祝)~22日(日) |
| 人権作品展          | 3月24日(火)~29日(日)   |

## 市民会館の催し物 (問合せ TEL67-5151)

|                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 月例茶会 席主: 鈴木宗和(裏千家) | 2月23日(日)        |
| 五葉会書道展             | 3月28日(土)・29日(日) |
| 月例茶会 席主: 鈴木博翠(薫風流) | 3月29日(日)        |